

令和7年度

自)令和 7年 4月 1日

至)令和 8年 3月31日

事業計画書及び収支予算書

目 次

事業計画書	-----	1	頁
収支予算書	-----	9	頁
予定貸借対照表	-----	12	頁

令和 7 年 度

一般財団法人さっぽろ水道サービス協会

事業計画書

I 事業活動方針

1 事業運営

当協会では、平成 26(2014)年度に策定した 10 か年計画である「長期構想 2023」及びその実行計画である「中期経営計画」を事業運営の指針とし、「技術力の向上」「自主事業の拡大と広域化」「経営基盤の強化」の 3 つの目指すべき方向性を掲げ、効率的な事業運営に努めてきた。本計画は、令和 5 (2023)年度が最終年度であったが、次期 10 か年計画の始期を、札幌市水道局の第 2 次札幌水道ビジョンの始期である令和 7 (2025)年度と合わせるため、令和 6 (2024)年度まで延長した。

新たな 10 か年計画である「経営計画 2034」(令和 7 (2025)年度～令和 16(2034)年度)については、経営理念として「水と共に歩み、笑顔あふれる未来をつむぐ」を掲げ、運営方針として高めるべき 3 つの力を「実行力」「現場力」「組織力」とし、人財の確保・育成や水道技術の継承、経営基盤の強化に向けた具体の取り組みについて、現在策定しているところである。新たな計画の始期については、令和 7 (2025)年度上期を予定している。

2 経営概況

当協会の事業運営を取り巻く環境は、刻々と変化しており、受託業務への競争原理の導入や官民連携が進んでいることに加え、物価の高騰や人件費の上昇、少子高齢化に伴う労働人口の減少などの社会情勢にも対応していく必要があり、引き続き厳しい状況が続いている。

このような状況の下、当協会が札幌市水道事業の専門的協力機関としての責務を果たすとともに、他水道事業体の課題解決に向けた取り組みを支援し、安定的に事業を運営していくためには、これまで実施してきた人材の確保・育成や技術力の強化、経営基盤の強化についての重要な施策を継承しつつ、新たな経営計画に掲げる施策に取り組む必要がある。このため、本年度においても業務の効率化等による経費の抑制や計画的な職員採用・研修の実施による人材の確保・育成を継続し、組織力の強化に努めるとともに、業務を着実に履行する。

本年度の事業運営に係る収支予算は、新たに「豊平川水道水源水質保全バイパス維持管理業務(以下、「バイパス維持管理業務」という。)」の受託を見込んでいることや、事業全般にわたる労務単価の上昇に伴い、収入の増加を見込んでいる。その一方、バイパス維持管理業務の受託に備えた先行投資として、人材育成に係る費用を計上したこと等に伴い、支出についても増加を見込んでいる。

II 事業の概要

令和7年度は、調査研究・普及宣伝事業、一般事業、受託事業の3事業を実施する。

調査研究・普及宣伝事業は、公益目的支出に位置付けた事業として、札幌市水道事業についてのPR等を行う。一般事業は、水道技術者等の教育指導、簡易専用水道の検査の2事業を行う。受託事業は、札幌市水道局から受託した事業を主体とし、新たにバイパス維持管理業務の受託を見込んでいることから、1事業増加し、合計11事業を行う。

これらの事業を、3部10課(水道記念館を含む。)19係、職員数263名の体制で実施する。

1 調査研究・普及宣伝事業

水道記念館における各種イベントの企画・開催、リーフレット・パンフレットの配布、グッズ販売等のほか、ホームページ等を活用し、札幌市水道事業についてのPRを行う。また、冬季の閉館期間中においては、幼稚園・保育園への出張教室並びに冬休み期間の小学生を対象に児童会館で出張ウォーターLabを実施するほか、地下歩行空間などでイベントを開催し、水道事業の普及宣伝活動を行う。

	令和7年度	令和6年度	増減
出張教室、Lab 参加・利用者見込数(人)	540	540	0
実施箇所数(箇所)	18	18	0
水道ひろば 参加・利用者見込数(人)	8,000	8,000	0
キャラクターグッズ販売見込数(個)	2,000	2,200	△200

2 一般事業

(1) 水道技術者等の養成に必要な教育及び指導訓練に関する事業

ア 独立行政法人国際協力機構(JICA)が主催し、札幌市水道局が実施する研修会に講師を派遣し、実習指導等を行う。

イ 公益社団法人日本水道協会が主催し、札幌市水道局が実施する講習会に講師を派遣し、実習指導等を行う。

ウ 公益財団法人日本建築衛生管理教育センターが実施する「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく国家資格取得講習会に講師を派遣し、講義を分担担当する。

エ 道内の水道事業体職員の基礎的な技術力の向上と広域的な連携の強化を目的として、札幌市水道局との共催により「水道事業体合同技術研修」を実施する。

	令和7年度	令和6年度	増減
講習会等見込講師派遣数合計(人)	42	40	2
JICA課題別「上水道施設技術総合(B)」コース	10	10	0
水道技術管理者資格取得講習会	3	3	0
建築物環境衛生管理技術者講習会	3	3	0
貯水槽清掃作業監督者再講習会	2	2	0
水道事業体合同技術研修	24	22	2

※見込講師派遣数は延べ人数である。

(2) 簡易専用水道の検査に関する事業

水道法に定める簡易専用水道(有効容量10m³を超える貯水槽)の管理について、設置者等の依頼に基づき検査を行う。

	令和7年度	令和6年度	増減
検査見込件数合計(件)	1,531	1,546	△15
現場検査見込件数	1,160	1,180	△20
書類検査見込件数	371	366	5

3 受託事業

(1) 水道記念館の管理運営に関する事業

水道記念館の管理運営及び藻岩浄水場の施設見学案内並びに水道事業のPRなどを行う。また、令和7年度から新たに「きき水体験」ブースを運営し、更なる来館者促進に関する事業を行う。

(令和6年度 開館期間 4月13日(土)～11月15日(金))

(令和7年度 開館予定期間 4月12日(土)～11月15日(土))

	令和7年度	令和6年度	増減
水道記念館目標来館者数(人)	100,000	110,000	△10,000
さっぽろ水道フェスタ目標来館者数	10,000	10,000	0
水道記念館秋まつり目標来館者数	10,000	10,000	0
浄水場見込見学者数	8,000	8,000	0
きき水体験目標参加者数	15,000	—	15,000

(2) 地下埋設物・給水装置台帳の情報提供管理に関する事業

各種工事関係者等からの問合せや相談に応じるとともに、申請に基づき地下埋設給配水管及び給水装置台帳の情報を水道局オンラインシステムより出力し提供する。また、システムに登録されている給水装置台帳の原本を逐次整理し保管する。このほか、水道局資料センターの庁舎管理(補助)を実施する。

	令和7年度	令和6年度	増減
地下埋設物情報出力見込枚数(枚)	33,500	33,000	500
管理図・給水装置台帳情報出力見込枚数(枚)	105,100	86,300	18,800
給水装置台帳等保管管理見込件数(件)	14,300	16,100	△1,800

(3) 道路占用許可申請等の受付入力管理に関する事業

水道局及び給水装置工事事業者から提出された道路占用許可申請入力表等を受付し、提出書類に不備があった場合には、適切な助言・指導を行った後、道路管理システムにデータを入力し、道路管理者の許可書等の発行を行う。

	令和7年度	令和6年度	増減
入力見込箇所数(箇所)	5,600	6,000	△400

(4) 小規模貯水槽水道の衛生管理調査・啓発に関する事業

札幌市内における小規模貯水槽水道(有効容量10m³以下の貯水槽)について、札幌市水道局貯水槽水道管理指導要領等に基づく衛生管理状況の調査を行い、不備のある施設に対し改善指導等を行う。

	令和7年度	令和6年度	増減
調査見込件数(件)	1,400	1,400	0

(5) 給水装置工事の検査に関する事業

水道局に申請された給水装置工事について、設計審査後の受付からしゅん功検査における書類及び現地検査など一連の業務と、これに付随する事務処理を行う。

	令和7年度	令和6年度	増減
検査見込件数(件)	30,000	32,000	△2,000

(6) 配水管路の維持管理に関する事業

送・配水管における弁室、水管橋等の点検を実施し、その劣化状況等の診断及び簡易な整備を行うとともに、給配水管の地下漏水調査を行う。

	令和7年度	令和6年度	増減
弁室点検見込数(箇所)	500	590	△90
水管橋調査点検見込数(回)	1,216	1,394	△178
管路巡視点検見込数(km)	80.6	90.9	△10.3
緊急貯水槽点検見込数(回)	429	546	△117
弁筐調査点検見込数(箇所)	350	400	△50
水質維持放水施設調査点検見込数(回)	396	393	3
給配水管漏水調査業務	—	—	—
給配水管音聴調査見込数(km)	998.0	980.0	18.0
弁栓音聴調査見込数(km)	875.0	370.0	505.0
消火栓音聴調査見込数(基)	8,795	16,100	△7,305
監視型漏水調査見込数(km)	29.8	45.0	△15.2
ブロック計量調査見込数(箇所)	5	5	0

(7) 水道技術者等講習会の運営管理に関する事業

ア 公益社団法人日本水道協会が主催する配水管の配管、接合等の実技や設計施工に関する知識の習得など、水道技術者養成のための講習会の運営管理を行う。

	令和7年度	令和6年度	増減
配水管工技能講習会I見込従事者数(人)	120	120	0
配管設計講習会见込従事者数(人)	19	19	0

※見込従事者数は延べ人数である。

イ 公益財団法人給水工事技術振興財団が主催する給水装置工事主任技術者試験について、その試験監督を行う。

	令和7年度	令和6年度	増減
給水装置工事主任技術者試験監督業務見込従事者数(人)	40	40	0

(8) 浄水場の維持管理に関する事業

藻岩・白川浄水場の設備の点検整備業務及び排水処理施設運転管理業務並びに西野・宮町、当別浄水場の運転管理業務及び施設・設備の点検整備業務を行う。なお、当別浄水場においては、令和7年度からの札幌市への通水に向けて増設した浄水場及び新設した札幌ポンプ場の運転開始に伴い、業務量が増加する。

ア 藻岩浄水場維持管理業務

	令和7年度	令和6年度	増減
延べ点検見込回数合計（回）	4,605	4,614	△9
取水・浄水施設	2,835	2,840	△5
排水処理施設	1,280	1,284	△4
その他業務	490	490	0

イ 白川浄水場維持管理業務

	令和7年度	令和6年度	増減
延べ点検見込回数合計（回）	11,457	11,495	△38
取水・浄水施設	7,850	7,878	△28
排水処理施設	3,262	3,272	△10
その他業務	345	345	0

ウ 西野・宮町浄水場管理業務

① 西野浄水場

	令和7年度	令和6年度	増減
延べ点検見込回数合計（回）	2,202	2,198	4
取水・浄水施設	1,490	1,488	2
排水処理施設	273	272	1
その他業務	439	438	1

② 宮町浄水場

	令和7年度	令和6年度	増減
延べ点検見込回数合計（回）	1,867	1,916	△49
取水・浄水施設	1,173	1,205	△32
排水処理施設	250	250	0
その他業務	444	461	△17

エ 当別浄水場運転管理業務

	令和7年度	令和6年度	増減
延べ点検見込回数合計（回）	7,573	6,015	1,558
取水・浄水施設	5,043	3,697	1,346
排水処理施設	772	493	279
送水施設	1,458	1,277	181
その他業務	300	548	△248

(9) 豊平川水道水源水質保全バイパス維持管理に関する事業

令和7年度から、新たに豊平川水道水源水質保全バイパス施設の運転管理業務及び施設・設備の点検整備業務を行う見込みである。

	令和7年度	令和6年度	増減
延べ点検見込回数合計（回）	1,644	—	1,644
管理センター（回）	1,427	—	1,427
玉川橋取水堰（回）	217	—	217

(10) 水道水質監視・管理に関する事業

浄水場の水源である河川流域の巡回監視並びに配水区域調査地点の給配水水質監視及び浄水場等水道施設、水再生プラザ、河川水の水質試験（毎日試験・毎週試験、カビ臭試験など）を行う。そのほか、豊平川水道水源水質保全バイパス維持管理業務に関わる水質試験を行う。

ア 水源監視業務

	令和7年度	令和6年度	増減
延べ監視見込回数合計（回）	14,218	14,348	△130
豊平川等	7,158	7,168	△10
琴似発寒川・星置川等	7,060	7,180	△120

イ 水質管理業務

	令和7年度	令和6年度	増減
給配水水質監視延べ見込回数（回）	3,160	3,182	△22
水質試験見込件数合計（件）	35,688	35,716	△28
毎日試験・毎週試験	24,794	25,840	△1,046
カビ臭試験	5,292	5,248	44
浄水場排水試験	275	274	1
ヒ素調査	1,000	1,000	0
ピコプランクトン監視	320	312	8
水質データ確認	2,583	2,562	21
定量送水試験	480	480	0
豊平川水道水源水質保全バイパス維持管理業務に関わる水質試験	944	—	944

(11) 配水施設等の維持管理に関する事業

ポンプ場、配水池及び送水施設（送・配水管トンネル）等の維持管理業務を行う。

	令和7年度	令和6年度	増減
延べ点検見込回数合計（回）	3,870	3,894	△24
巡回点検（回）	2,352	2,376	△24
定期点検【月次・年次】（回）	1,518	1,518	0

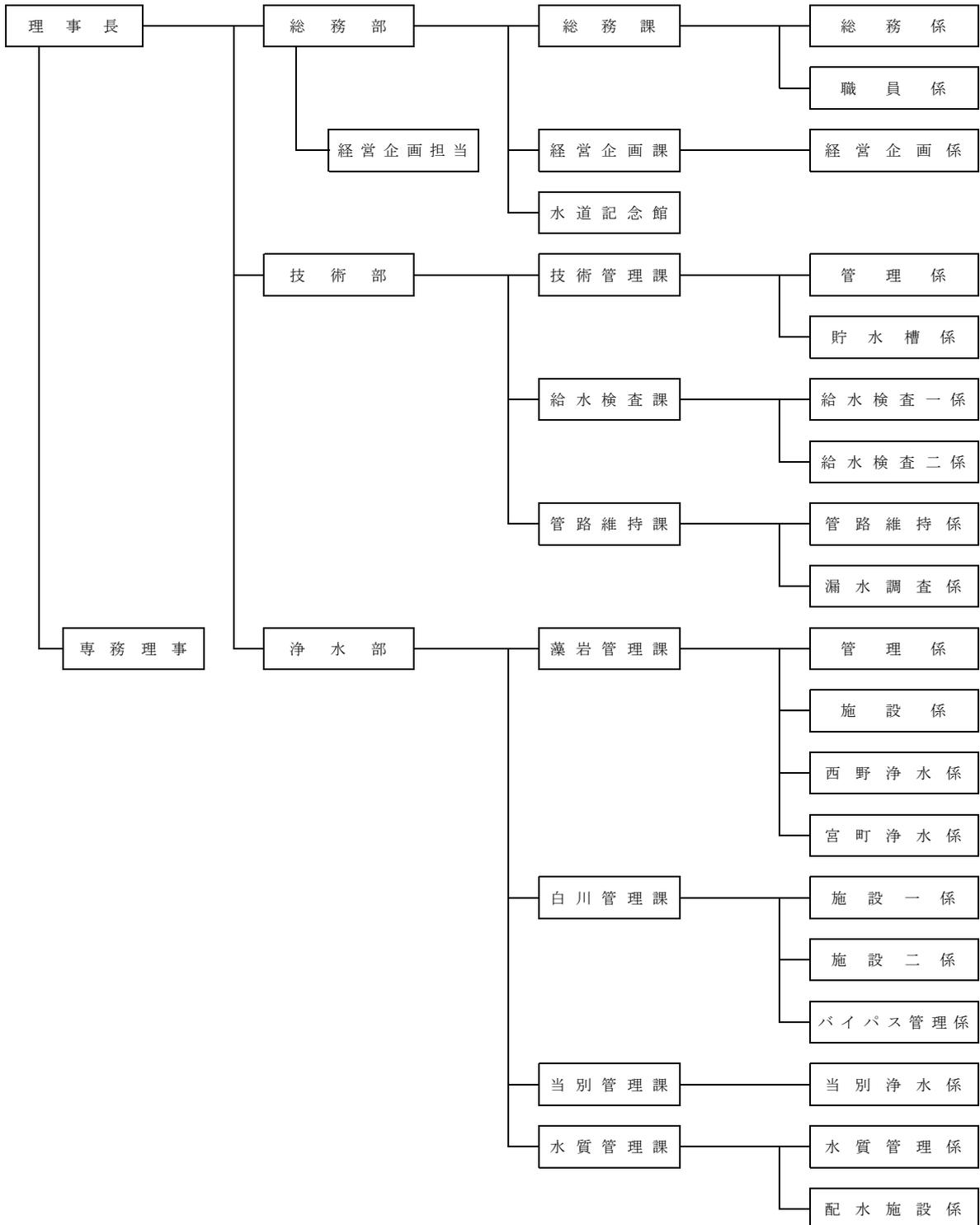
Ⅲ 組織・機構

1 組織の編成

令和7年度は、事業拡大における体制強化として、新たに専務理事を配置するとともに、浄水部白川管理課にバイパス管理係を設置し、3部10課19係の体制により事業を行う。

2 機構図

令和7年度の機構図は、次のとおりとする。



令和 7 年 度
 一般財団法人 さっぽろ水道サービス協会
 収支予算書(損益ベース)
 (令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	31,000	31,000	0
基本財産受取利息	31,000	31,000	0
② 特定資産運用益	240,000	228,000	12,000
特定資産受取利息	240,000	228,000	12,000
③ 事業収益	1,921,784,000	1,793,280,000	128,504,000
調査・研究及び普及宣伝事業収益	313,000	402,000	△ 89,000
一般事業収益	17,018,000	19,089,000	△ 2,071,000
受託事業収益	1,904,453,000	1,773,789,000	130,664,000
④ 受取補助金等	232,000	116,000	116,000
受取国庫助成金	232,000	116,000	116,000
⑤ 雑収益	786,000	846,000	△ 60,000
雑収益	786,000	846,000	△ 60,000
経常収益計	1,923,073,000	1,794,501,000	128,572,000
(2) 経常費用			
① 事業費	1,742,757,000	1,573,513,000	169,244,000
役員報酬	4,817,000	4,956,000	△ 139,000
通勤手当役員報酬分	152,000	132,000	20,000
給料	656,841,000	587,076,000	69,765,000
諸手当	276,382,000	235,450,000	40,932,000
賃金	70,299,000	73,737,000	△ 3,438,000
賞与引当金繰入額	94,709,000	81,975,000	12,734,000
法定福利費	167,820,000	152,739,000	15,081,000
福利厚生費	54,651,000	49,358,000	5,293,000
通勤手当	30,563,000	28,246,000	2,317,000
通勤手当賃金分	3,695,000	4,124,000	△ 429,000
通信運搬費	6,777,000	6,162,000	615,000
減価償却費	14,935,000	14,901,000	34,000
消耗什器備品費	39,770,000	34,131,000	5,639,000
修繕費	4,550,000	4,037,000	513,000

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
印刷製本費	1,255,000	1,310,000	△ 55,000
燃料費	8,379,000	7,819,000	560,000
光熱水料費	19,000	33,000	△ 14,000
被服費	6,910,000	5,549,000	1,361,000
賃借料	23,390,000	31,555,000	△ 8,165,000
保険料	950,000	902,000	48,000
租税公課	145,387,000	135,651,000	9,736,000
委託費	121,543,000	104,508,000	17,035,000
支払手数料	2,833,000	2,797,000	36,000
交際費	80,000	80,000	0
雑費	6,050,000	6,285,000	△ 235,000
② 管理費	212,841,000	206,237,000	6,604,000
役員報酬	10,578,000	3,588,000	6,990,000
通勤手当役員報酬分	336,000	83,000	253,000
給料	66,883,000	67,240,000	△ 357,000
諸手当	33,717,000	34,286,000	△ 569,000
賞与引当金繰入額	11,196,000	11,569,000	△ 373,000
法定福利費	21,297,000	20,358,000	939,000
福利厚生費	9,419,000	9,547,000	△ 128,000
通勤手当	3,848,000	3,696,000	152,000
研修費	13,045,000	13,632,000	△ 587,000
会議費	20,000	120,000	△ 100,000
旅費	2,153,000	2,665,000	△ 512,000
通信運搬費	1,730,000	1,729,000	1,000
減価償却費	2,848,000	2,795,000	53,000
消耗什器備品費	2,824,000	2,389,000	435,000
修繕費	200,000	200,000	0
印刷製本費	950,000	660,000	290,000
燃料費	199,000	213,000	△ 14,000
光熱水料費	1,157,000	1,074,000	83,000
被服費	148,000	64,000	84,000
賃借料	9,561,000	9,552,000	9,000

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
保険料	260,000	260,000	0
諸謝金	100,000	100,000	0
租税公課	1,360,000	1,370,000	△ 10,000
支払負担金	1,686,000	2,749,000	△ 1,063,000
委託費	7,040,000	4,744,000	2,296,000
支払手数料	4,565,000	5,793,000	△ 1,228,000
交際費	180,000	180,000	0
雑費	5,541,000	5,581,000	△ 40,000
経常費用計	1,955,598,000	1,779,750,000	175,848,000
当期経常増減額	△ 32,525,000	14,751,000	△ 47,276,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 32,525,000	14,751,000	△ 47,276,000
法人税、住民税及び事業税	70,000	13,568,000	△ 13,498,000
当期一般正味財産増減額	△ 32,595,000	1,183,000	△ 33,778,000
一般正味財産期首残高	1,095,561,000	1,043,964,000	51,597,000
一般正味財産期末残高	1,062,966,000	1,045,147,000	17,819,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,067,966,000	1,050,147,000	17,819,000

(注) 1 借入金限度額 50,000千円

2 債務負担額 0円

令和 7 年 度
一般財団法人 さっぽろ水道サービス協会
予 定 貸 借 対 照 表

(令和 8 年 3 月 3 1 日現在)

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	195,000	210,000	△ 15,000
預金	738,383,000	703,196,000	35,187,000
前払費用	1,590,000	1,602,000	△ 12,000
未収金	155,218,000	148,731,000	6,487,000
流動資産合計	895,386,000	853,739,000	41,647,000
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
有価証券	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,502,000	2,032,000	△ 530,000
減価償却引当資産	104,530,000	99,837,000	4,693,000
経営安定積立資産	120,000,000	120,000,000	0
特定資産合計	226,032,000	221,869,000	4,163,000
(3) その他の固定資産			
建物	1,676,000	1,277,000	399,000
建物付属設備	1,633,000	2,093,000	△ 460,000
什器備品	8,389,000	7,515,000	874,000
ソフトウェア	3,449,000	6,180,000	△ 2,731,000
差入保証金	100,000	100,000	0
投資有価証券	99,999,000	99,997,000	2,000
リース資産	24,881,000	16,582,000	8,299,000
その他の固定資産合計	140,127,000	133,744,000	6,383,000
固定資産合計	376,159,000	365,613,000	10,546,000
資産合計	1,271,545,000	1,219,352,000	52,193,000

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	29,288,000	22,329,000	6,959,000
未払費用	10,938,000	11,575,000	△ 637,000
未払消費税等	30,655,000	9,164,000	21,491,000
未払法人税等	70,000	13,568,000	△ 13,498,000
前受金	77,000	84,000	△ 7,000
賞与引当金	105,905,000	93,544,000	12,361,000
預り金	263,000	327,000	△ 64,000
リース債務	7,139,000	8,534,000	△ 1,395,000
流動負債合計	184,335,000	159,125,000	25,210,000
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,502,000	2,032,000	△ 530,000
長期リース債務	17,742,000	8,048,000	9,694,000
固定負債合計	19,244,000	10,080,000	9,164,000
負債合計	203,579,000	169,205,000	34,374,000
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	1,062,966,000	1,045,147,000	17,819,000
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(224,530,000)	(219,837,000)	(4,693,000)
正味財産合計	1,067,966,000	1,050,147,000	17,819,000
負債及び正味財産合計	1,271,545,000	1,219,352,000	52,193,000